

●和文に関する課題

以下の設問に従い、別紙の文書を作成し、保存しなさい。

- ※1 作成例（別紙）には、設問番号を丸付き数字で表示しています。参考にすること。
ただし、【設問1】【設問2】【設問27】の一部については表示しないものとする。
- ※2 設問に提示されていない事柄については、作成例（別紙）を参考にし、同じイメージになるように作成すること。
- ※3 図または図形の文字列の折り返しは、必要に応じて設定すること。

■文書の設定

- 【設問1】 新規文書を作成し、ファイルを保存する。
 - ・保存場所はデスクトップの「ワード・プロセッサA」フォルダとする。
 - ・ファイル名は「03WP1」とする。
- 【設問2】 用紙の設定をする。
 - ・余白は上下左右 30mm 程度にする。
 - ・文字数と行数の指定は、「行数だけを指定」し、行数は「38行」とする。
 - ・ヘッダーの右側（上から 10mm の位置）に「競技者氏名」を入力する。
 - ・フッターの中央（下から 10mm の位置）に「ページ番号」を設定する。

■1ページ目の設定

- 【設問3】 タイトル「青森の伝統工芸品」をワードアートで作成する。ワードアートのスタイルは作成例を参考に設定するものとする。
 - ・フォント：游ゴシック体系、36ポイント、太字
 - ・「青森の」は中抜きにして、文字の輪郭：白色系、光彩の効果：青色系
 - ・「伝統工芸品」はオレンジ色系、文字の輪郭：線なし
 - ・領域上に「デスクトップ」→「和文」フォルダの中から「伝統工芸品.jpg」を挿入し、アート効果を設定し、作成例を参考に位置とサイズを調整
- 【設問4】 サブタイトル「～津軽塗について～」を入力し、以下の設定を行う。
 - ・フォント：ゴシック体系、20ポイント、太字、紫色系、二重下線、下線の色：黄色系
 - ・段落：中央揃え
- 【設問5】 【設問4】で作成したサブタイトルの下の文書は、「デスクトップ」→「和文」フォルダの中から文書名「津軽塗の歴史.txt」を読み込む。
 - ・フォント：明朝体系、10.5ポイント
 - ・割注：括弧で囲む、括弧の種類→()
- 【設問6】 【設問5】で読み込んだ文書の左側に「デスクトップ」→「和文」フォルダの中から「お椀.jpg」を挿入し、作成例を参考に位置とサイズを調整する。
 - ・図のスタイル：四角形、ぼかし
- 【設問7】 見出し「津軽塗とは」は、作成例を参考に図形で作成する。
 - ・フォント：明朝体系、12ポイント、青色系、太字、中央揃え
 - ・図のスタイル：テーマスタイル→緑色系

- 【設問8】 「津軽塗は～津軽塗のみなのです。」を入力し、文書内の「経済産業大臣指定伝統工芸品」に、脚注「伝統的工芸品産業の振興に関する法律に基づいて経済産業大臣により指定された日本の伝統工芸品」を挿入する。
- ・フォント：明朝体系、10.5ポイント
 - ・段落：「工芸品で～形成されていること。」→行間「固定値：15ポイント」、左インデント2文字
 - ・段落番号：番号の種類→数字（全角）
 - ・脚注のフォント：明朝体系、9ポイント
- 【設問9】 【設問8】で入力した文書の右側に「デスクトップ」→「和文」フォルダの中から「津軽塗地域.jpg」を挿入し、作成例を参考に位置とサイズを調整する。
- 【設問10】 【設問7】同様、見出し「代表的な4種類の技法」は、作成例を参考に図形で作成する。
- 【設問11】 見出しの下にSmartArt「画像リスト」を利用し、以下の設定を行い、作成例を参考に、位置とサイズを調整する。
- ・画像：左から順に「デスクトップ」→「和文」フォルダの中から「唐塗.jpg」「七々子塗.jpg」「紋紗塗.jpg」「錦塗.jpg」を挿入
 - ・フォント：ゴシック体系、9ポイント、黒色系、太字
 - ・SmartArtのスタイル：3-D細黒枠

■2ページ目の設定

- 【設問12】 タイトル「こぎん刺し」をワードアートで作成する。ワードアートのスタイルは作成例を参考に設定するものとする。
- ・フォント：メイリオ、36ポイント、オレンジ色系、太字
 - ・文字の輪郭：オレンジ色系、文字の効果：変形
 - ・ワードアートの左右に「デスクトップ」→「和文」フォルダの中から「こぎん刺し.jpg」を挿入し、作成例を参考に位置とサイズを調整
- 【設問13】 サブタイトル「津軽こぎん刺しの歴史」を入力し、以下の設定を行う。
- ・フォント：明朝体系、18ポイント
 - ・段落：中央揃え、文字の拡大／縮小：150%、蛍光ペンの色：黄色系、太字
- 【設問14】 【設問13】で作成した見出しの下で文書は、「デスクトップ」→「和文」フォルダの中から文書名「こぎん刺しの歴史.txt」を読み込む。
- ・フォント：ゴシック体系、10.5ポイント
 - ・段落：行間「固定値：15ポイント」
- 【設問15】 【設問14】で読み込んだ文書の右側に「デスクトップ」→「和文」フォルダの中から「こぎん刺し歴史上.jpg」「こぎん刺し歴史下.jpg」を挿入し、作成例を参考に位置とサイズを調整し、以下の設定を行う。
- ・図のスタイル：楕円、ぼかし
 - ・図の効果：光彩→青色系（こぎん刺し歴史上.jpg）、グレー色系（こぎん刺し歴史下.jpg）
- 【設問16】 表を作成し、データを入力する。表の編集は作成例を参考に、以下の設定を行う。
- ・画像：左から順に「デスクトップ」→「和文」フォルダの中から「西こぎん.jpg」「東こぎん.jpg」「三縞こぎん.jpg」を挿入
 - ・フォント：明朝体系、1行目→12ポイント、3行目→10ポイント
 - ・塗りつぶし：1行目→黄色系
 - ・1行目：水平方向→中央揃え、垂直方向→中央揃え
 - ・罫線：外枠→太線、
 - ・ルビ：「三縞」に「みしま」を設定
 - ・図表番号：ラベル→表

■ 3ページ目の設定

【設問17】タイトル「津軽びいどろ」をワードアートで作成する。ワードアートのスタイルは作成例を参考に設定するものとする。

- ・フォント：ゴシック体系、48ポイント、青色系、太字
- ・文字の効果：反射→反射（弱）、オフセットなし

【設問18】見出し「＜津軽びいどろの歴史＞」を入力し、以下の設定を行う。

- ・フォント：ゴシック体系、16ポイント、青色系、下線

【設問19】【設問18】で作成した見出しの下に文書は、「デスクトップ」→「和文」フォルダの中から文書名「びいどろの歴史.txt」を読み込み、2段組みを設定する。

- ・フォント：明朝体系、10ポイント
- ・「うきだま」に傍点を設定
- ・段落：行間「固定値：15ポイント」、左右インデント1文字

【設問20】「デスクトップ」→「和文」フォルダの中から「浮き球.jpg」を挿入し、作成例を参考に位置とサイズを調整し、図のスタイルを設定する。

- ・図の効果：面取り→丸

【設問21】【設問18】同様、見出し「＜津軽びいどろの製法・技＞」を入力し、フォントの設定を行う。

【設問22】見出し「＜津軽びいどろの製法・技＞」の下に作成例を参考に任意の図形を作成すること。

※1 設定内容については、＜表1＞を参考にすること。また、同じ図形を複数個、挿入する場合は、コピー・貼り付け作業をするとよい。

※2 図形の挿入の順序によって、配置の変更（前面へ移動、背面へ移動）をすること。

＜表1＞

設定内容箇所	右矢印	「色づくり」「宙吹き」「型吹き」「スピン成型」「オーナメント(飾り小物)成型」	「完成」
塗りつぶし	緑色系	テクスチャ→しずく	テクスチャ→青い画用紙
図形の回転			15度
枠線の色	緑色系	青色系	
枠線の太さ	3ポイント		
フォント		明朝体系	
フォントスタイル		太字	
フォントの色		青色系	
フォントサイズ		9ポイント	12ポイント
文字の配置		上下中央揃え	
文字列の方向		縦書き	

【設問23】【設問22】で挿入した図形「完成」の下側に、「デスクトップ」→「和文」フォルダの中から「完成.jpg」を挿入する。

- ・図形の効果：影→透視投影（斜め右上）

【設問24】見出し「★北洋硝子案内地図★」を次に示す設定内容の通りにすること。

- ・フォント：丸ゴシック体系、赤色系、12ポイント、太字、斜体
- ・段落罫線：作成例を参考に上と下に設定する、線の色は赤色系

【設問25】【設問24】で作成した見出しの下に作成例を参考に任意の図形を挿入し、地図を作成すること。

- ※1 設定内容については、＜表2＞を参考にすること。また、同じ図形を複数個、挿入する場合は、コピー・貼り付け作業をするとよい。
- ※2 図形の挿入の順序によって、配置の変更（前面へ移動、背面へ移動）をすること。
- ※3 地図内のフォントについては全て、ゴシック体系、9ポイント、黒色系とする。

＜表2＞

・新城川：線の色→青色系、線の太さ→6ポイント
・新城川（文字）：塗りつぶし→なし、枠線の色→線なし
・道路：線の色→グレー色系、線の太さ→3ポイント
・青森動物医療センター：塗りつぶし→緑色系、枠線の色→線なし
・青森動物医療センター（文字）：塗りつぶし→なし、枠線の色→線なし
・北洋硝子：塗りつぶし→オレンジ色系、枠線の色→線なし、文字の位置→上下左右中央揃え
・マエダガーラモール：塗りつぶし→黄色系、枠線の色→線なし
・地図全体：塗りつぶしの色→なし、枠線の色→青色系、枠線の太さ→2.25ポイント

【設問26】【設問25】で作成した地図の右側に「住所：～徒歩約10分」を入力し、以下の設定を行う。

- ・フォント：ゴシック体系、10ポイント
- ・段落：行間「固定値：15ポイント」
- ・完成例の通り、領域上に図形のメモを挿入し、「テクスチャ：デニム」透明度80%で塗りつぶす。
図形の枠線：青色系

■文書全体の調整

【設問27】以上の設問に指示されていない事柄については、作成例（別紙）を参考に、同じイメージになるように作成し、完成とする。